



# The Egg Tree House

たまごのある木

あのね、  
イエローはたまごでね、  
グリーンは木なんだよ。  
オレンジはたまごをだいにする  
カーテンなんだ。

1997年5月15日

百珠（ももみ）4歳で神経芽腫を再発し、5歳で亡くなる。  
The Egg Tree Houseの名前はこの詩から生まれました。

真蔵院（十住堂）への行き方



〒184-0001 小金井市関野町2丁目8番4号

**交通** 中央線東小金井駅北口からCoCoバスで5分～10分  
各時刻の9分、29分、49分発武蔵小金井行、小金井公園入口下車

**駐車場** 五日市街道沿いに駐車場があります。

主催



一般社団法人  
The Egg Tree House

〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町4-31-4  
電話/Fax : 03-3867-6791  
<http://eggtreehouse.org>

The Egg Tree House  
ファシリテーター養成講座



# The Egg Tree House Training and Education

2014年4月から The Egg Tree House が  
月に1回オープンしました。

The Egg Tree House が始めた子どもたちのグリーフケアは  
あなたの力と時間を必要としています。  
子どものグリーフケアに関心があり、  
ファシリテーターとして The Egg Tree House の  
プログラムに参加したい方を歓迎します。

グリーフケアとは喪失体験で心が傷ついている人が自分を取り戻す過程をサポートすることです。  
ファシリテーターとは死別悲嘆を抱える人が悲しみを表現し変容できるように絆を結びつづける人のことです。

**日時** 2019年6月2日(日)、8日(土)、9日(日)  
9:00～17:40

**場所** The Egg Tree House 十住堂（真蔵院）

**費用** 一般25,000円 大学生・大学院生13,000円

— 申込み・お問い合わせ —  
[egg.tree.house@gmail.com](mailto:egg.tree.house@gmail.com)

**申込受付** 2019年4月1日～2019年5月18日

**定員** 12名（一般6、大学生・大学院生6）

**主催** 一般社団法人The Egg Tree House

大切な人、身近な人を亡くした子ども、若者、保護者のグリーフケア、  
The Egg Tree House Grief Careは2014年4月から始まっています。



# The Egg Tree House

## 第8回ファシリテーター養成講座プログラム

### 1日目 6月2日(日)

9:00-9:50	はじめに プログラムの説明, グループ活動のためのガイドライン, スタッフと参加者の紹介(尾本)
10:00-10:50	グリーフケアの成り立ち, ダギーセンター, エッグツリーハウスの成り立ち, ミッションと活動内容(西尾)
11:00-11:50	エッグツリーハウスとファシリテーター(西尾)
11:50-12:50	昼食, 休憩
12:50-13:50	傾聴—ともにあることの技法としての聴くこと(坂元)
14:00-17:00	野口体操からのアプローチ(新井)
17:10-17:30	自死遺族の会から(小川)
17:30-	実習相談

### 2日目 6月8日(土)

9:00-10:30	ロスライン(大島)
10:40-12:10	死とどう向き合うか(孤島)
12:10-13:10	昼食, 休憩
13:10-13:50	死別後の悲嘆反応(大島)
14:00-17:00	野口体操からのアプローチ(新井)
17:10-17:40	ファシリテーターの手続き(西尾)
17:50-	懇親会

### 3日目 6月9日(日)

9:00-9:50	グリーフカード(西尾+ファシリテーター)
10:00-11:00	体験者の語り(荒木)
11:10-12:40	アートとグリーフ 作品作り(小笠原)
12:40-13:40	昼食, 休憩
13:40-14:50	子どものたまごの時間、グループワーク(西尾、宮下)
15:00-16:20	大人のたまごの時間、グループワーク(尾本、大島、西尾(恵)、宮下、荒木)
16:30-17:10	いろいろなお家(尾本)

- ◎(筆記用具、お弁当)持参、動きやすい服装でおいでください。プログラムは一部変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。
- ◎エッグツリーハウスは、夏に行うグリーフケアキャンプを含め子どもたちと一緒に活動していただけるファシリテーターを必要としています。

## 講師紹介



### 小川有閑

浄土宗蓮宝寺住職。2014年-2018年(一社)The Egg Tree House理事  
2008年より「自死・自殺に向き合う僧侶の会」等で自死対策に関わる。2010年東京大学大学院人文社会系研究科博士課程(宗教学宗教学)単位取得満期退学。大正大学地域構想研究所研究員。最近では僧侶の自死に関する活動やその意味に関心を持ち、研究を進める。2012年ダギーセンター(米国オレゴン州)で研修。



### 新井英夫

体作家・ダンスアーティスト。投げ銭方式の野外劇などマチと関わる演劇活動を経て独学でダンスへ。自然の動きをお手本に力を抜く「野口体操」を創始者野口三千三より学び、深い影響を受ける。国内外での公演活動とともに、乳幼児から高齢者まで、また障がいの有無を問わず様々な対象に、教育・福祉・まちづくりに関わる現場で「からだからダンスを発見」するワークショップを展開中。2006~11年まで山形大学、2015年まで天理医療大学にて、現在、国立音楽大学と立教大学にて非常勤講師を務める。(財)地域創造「公共ホール現代ダンス活性化支援事業」登録アーティスト。  
<http://blog.goo.ne.jp/karadakara>



### 西尾温文

(一社)The Egg Tree House代表理事、プログラムディレクター、臨床心理士、公認心理師。2007年より順天堂医院がん治療センター心理士、2011年立教大学大学院現代心理学研究科博士課程単位取得退学。2012年3月ダギーセンター(米国オレゴン州)で研修、2012年Kids Hurt Too(ハワイ)で3ヶ月間研修。2013年7月International Summer Institute(ダギーセンター)で研修。



### 尾本美由紀

(一社)The Egg Tree House理事、プログラムディレクター、ファシリテーター1期生。順天堂医院小児科親の会「えくぼ」役員。2008年の自身の喪失体験から、きょうだい支援の必要性和グリーフケアに関心を持ち、本団体の活動に携わる。2017年6月、アメリカで開催のNational Alliance for Grieving Childrenへ参加。



### 大島則子

(一社)The Egg Tree House理事、プログラムディレクター、The Egg Tree Houseファシリテーター1期生。ボランティア、社会福祉、医療に関わって生きてきた。



### 孤島法夫

真言宗僧侶 真藏院住職。元大学教授、現在保護司。  
幼少時、主な健康管理は触手療法であった。また、仏教修行中にある体験をし、その後野口晴哉師の「野口整体」に触れ、坪井香穂師の「メビウス気流法」に大いに影響を受けた。これらの経験から身体感覚を通じた世界観を意識し始め、死と魂、身体と受容等に関心を持つ。



### 坂元達也

(一社)The Egg Tree House監事、2008年からカウンセラー富田富士也氏に心理カウンセリングを学ぶ。10~11年カウンセリング・センターにて鈴木剛子氏に学ぶ。11年グリーフ・カウンセラーの資格を取得。以降、個別カウンセリング、震災被災地でのカウンセリング、分かち合いの会などを行っている。また日暮亭愚樂という名で落語ボランティアにも参加している。